世界の文化創造拠点ARITAプロジェクトについて ＜全体概要＞

〈 事 業 目 的 〉 佐賀県の陶磁器産業において後継者不足、原材料高騰といった市場縮小が進行している状況をふまえ、**「文化観光」**というアプローチを通じ、世界の人々との交流を作り、陶磁器文化の魅力・価値を体験的に発信・訴求できる場を創出する。

〈 課 題 〉 世界に誇る文化資源の価値や魅力がわかりやすく整理・編集され、十分に発信されていない
❶文化体験の不足 ❷宿泊施設・移動手段の未整備 ❸ガイド・コンシェルジュの不足 ❹プロモーションが不十分

〈取組概要（5か年）〉

事業期間：R7～11年度 エリア：有田町・伊万里市・唐津市・嬉野市・武雄市 誘客ターゲット：主に欧米を中心とした文化関心層

❶ 自走化に向けた体制構築 Momentum Makers of ARITA
✓地域Co.を中心としたプロジェクト推進 ✓好循環モデルの構築 ✓自走化のしくみ・体制づくり

❷ ARITAの磨き上げ～物語を感じるまちづくり・生きたミュージアム～ The Living Museum ARITA Project
✓文化資源の価値を掘り起こし可視化させ、ストーリーとして編集・アーカイブ化し発信
✓九陶を文化観光ハブ拠点として体験・宿泊・移動・ガイドを一体的に整備し、世界との交流を生む深い文化体験と滞在価値を高める

❸ ARITAを起点とした周遊促進・世界への発信 Beyond ARITA Project
✓周辺地域での「文化体験」を整備し、有田を起点とした周遊ルートを造成
✓ブランドサイト制作やメディア・旅行社のFAM等により、世界の文化関心層の誘客を促進

5年後の目指す姿『文化交流拠点』
ARITA全体が**陶磁器文化を体感できる「生きたミュージアム」として機能**し、陶磁器文化のブランド力と文化的価値が高まり、陶磁器産業の持続的発展を後押しするとともに、その効果が周辺地域へ広がりはじめている。

10年後の目指す姿『世界の文化創造拠点ＡＲＩＴＡ』
世界中から感性豊かな人々がARITAに集い、陶磁器文化を核に交流と学びが広がっている。こうした交流を起点として、佐賀の陶磁器のブランド価値が高まるとともに、文化・食・アートなど多様な分野での交流が広がり、**文化（次世代への継承・創出）・観光（交流の促進）・産業（収益の多層化）が好循環**を生み出している。
さらに、**次世代の「文化創造拠点」として、ARITAを起点に佐賀県全体へ新たな交流と文化が生まれ、広がっている。**